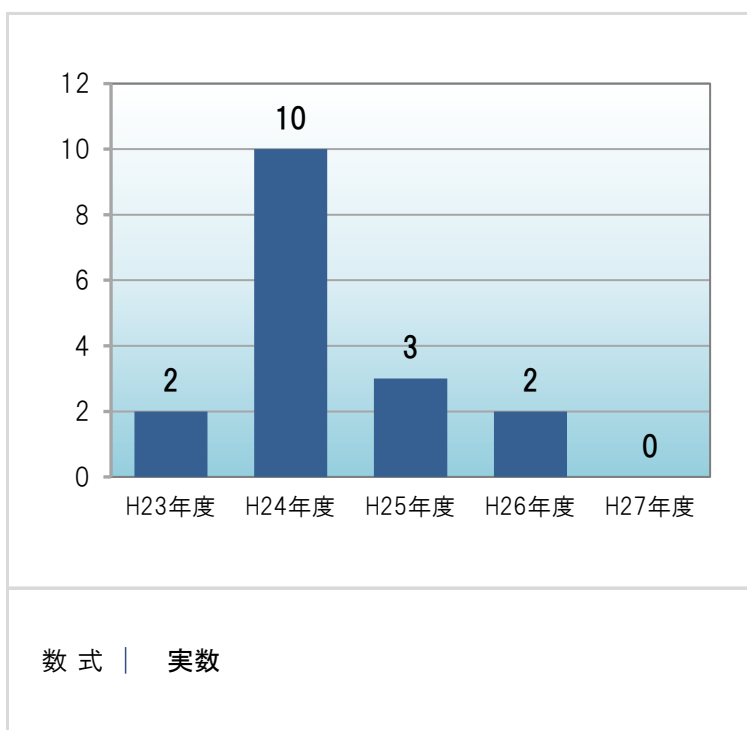


## 24 多剤耐性緑膿菌(MDRP)による院内感染症発生患者数

### ● 項目の解説

多剤耐性緑膿菌(MDRP)は一般家庭でも見られる毒素の弱い菌ですが、抵抗力が低下した患者に感染すると、重症肺炎など重篤な感染症を引き起こし死亡する場合があります。院内感染症は適切な介入により、発症頻度を減らすことが可能です。安全で良質な医療を提供する環境として、十分な感染対策を行っている点を評価しています。

### ● 当院の実績



単位 | 人

期間 | 年間

#### 備考・コメント

当院では、感染制御部を中心に院内感染対策に取り組んでいます。

平成27年度国立大学病院平均値 0.67人

### ● 定義

1年間の新規MDRP 発症患者数です。保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。